

史跡 北黄金貝塚

(読み方) しせき きたこがねかいつか

(英語) Kitakogane Site

【所在地】

北海道伊達市北黄金町

【年代】

紀元前 5,000 年～紀元前 3,500 年 (約 7,000～5,500 年前)

【キャッチコピー】

内浦湾に面した大規模な貝塚を伴う集落跡

【説明文：92字】

内浦湾をのぞむ丘陵上に立地する貝塚を伴う集落跡。貝塚からは、貝殻・魚骨・海獣骨、動物の骨や角でつくられた道具が多数出土し、海進・海退などの環境変化に適応した漁労を中心とした生業を示す。

【説明文：145字】

内浦湾をのぞむ丘陵上に立地する貝塚を伴う集落跡。貝塚からは、貝殻や魚骨、動物の骨や角でつくられた骨角器などが出土し、海進・海退などの環境変化に適応しながら漁労を中心とした生業が行われていたことを示す。低地の水場遺構では、すり石や石皿などの石器の廃棄に伴う祭祀が行われていたと考えられている。

【説明文：242字】

内浦湾をのぞむ丘陵上に立地する貝塚を伴う集落跡。台地上に居住域と墓域、貝塚が配置され、低地に湧水点と水場遺構がある。貝塚からは、貝殻や魚骨、動物の骨や角でつくられた骨角器などが出土し、海進・海退などの気候変動に適応しながら漁労を中心とした生業が行われていたことを示す。貝塚は祭祀場的な性格も有しており、貝塚の中から人の墓や動物儀礼の痕跡が確認されている。また、低地にある水場遺構からは意図的に壊された石皿やすり石などの石器が大量に出土し、廃棄に伴う祭祀が行われていたと考えられている。